

平成19年度 事務事業評価表	担当	都市開発部 区画整理課	内線等	2315
事務事業名	蒲郡蒲南土地区画整理事業		事業コード	3. 建設事業(ハード事業)
根拠法令等	土地区画整理法・都市計画法		A法令	

総合計画での位置付け

基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	市街地整備
------	--------------------	-----	-------

事務事業の内容

対象(受益者)	地区面積52.20haの土地権利者及び住民に対して
手 段	道路、公園等公共施設の整備改善及び宅地の利用促進を図り
想定する成果	健全な市街地を形成する。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
工事費	13,784,400円	24,684,450円	6,000,000円
補償費	36,658,720円	8,929,871円	15,700,000円
事業費	71,908,933円	54,195,727円	45,832,000円
建物移転累計	822戸	822戸	823戸
事業費累計	15,674,191千円	15,728,387千円	15,774,219千円

成果指標

成果指標名	事業進捗率	建物移転率
成果指標の説明	事業費累計 / 総事業費 × 100 (16,300,000千円)	建物移転累計戸数 / 総建物移転戸数 × 100 (823戸)

事業の進捗状況 ( 土地区画整理事業特別 会計 ) (単位：千円)

		平成18年度決算(実績)				平成19年度決算(実績)				平成20年度予算(計画)			
成果指標		96.2%				96.5%				96.8%			
成果指標		99.9%				99.9%				100.0%			
事業費	事業費	63,346				45,605				37,202			
	人件費	8,562				8,591				8,630			
	(人数)	正規	1.1	非常勤		正規	1.1	非常勤		正規	1.1	非常勤	
	合計	71,908				54,196				45,832			
財源内訳	国	12,400				3,200				7,120			
	県												
	市債	13,900				3,600				5,800			
	その他					25,422				13,000			
	一般財源	45,608				21,974				19,912			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	1	1	1	1	本地区は、家屋密集地域の為、家屋移転が進まずH19末で39年になる。各種補助金を導入し事業費で96.2%、建物移転率で99.9%になった。
経済効率性	2	2	2	2	家屋移転の方法は、移転費用の低減を図る為、曳家を基本としている。
事務効率性	1	1	1	1	本地区は、組織的反対者がいたことと家屋密集地の為、道路を100%整備するのに39年を要した。
必要性	3	2	3	3	本地区は、既成の市街地で交通量が激増している現状と家屋密集地区での火災や浸水等に対する防災や生活基盤施設が不足している状況等から公共施設の整備が急務である。
小計	7	6	7	7	
施策への貢献度	2	-	2	-	地区を決めて面的に整備する為、まちづくりの手法としては最も効果的だが、費用対効果に問題がある。
合計	9	6	9	7	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	C	B	B	本地区は、家屋密集地域、組織的な反対者、財政難等が原因でかなり遅れているが、支障移転物件も残り1件となり清算事務に向けての集中的な投資が必要になる。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
新しい国庫補助金(まちづくり総合支援事業)の事業期間がH14～H17だが、まだ残事業があるので、公共施設管理者負担金(公園)の導入が必要。
上記改善点の実施状況
公共施設管理者負担金が導入出来ないで、都市再生整備計画を作成しまちづくり交付金の提案事業枠を利用して物件補償等を進めた。残った工事等は市単独費で施工している。

今後さらに改善すべき点

清算事務の確定測量が現状予算では困難なため、まちづくり交付金(提案事業)を使って3ヵ年計画で実施するために第2期都市再生整備計画を作成して交付金を確保する。

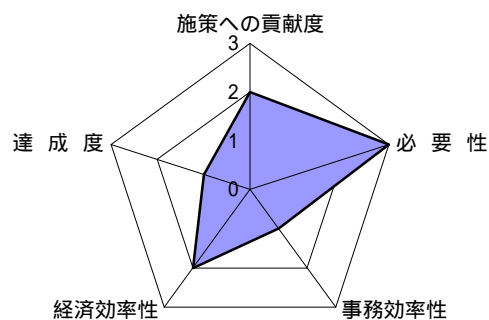
平成21年度予算に反映する項目

清算事務に向けての雑補償費等の予算確保

今後の方向性

現状維持

内部管理事務事業、義務的業務は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】